

南九州市地域おこし協力隊 活動報告書

2017.9月

受 入 先	NPO 法人 顔娃おこそ会
役 職	デザイナー
隊 員 氏 名	まえさこ しょうご 前 迫 昇 吾
着 任 日	平成 28 年 11 月 1 日

～ 主な動き ～

1. 地元の方にタブレットの使い方を教えました。
2. 農業研修生のコーヒーの淹れ方講座を取材しました。
3. おこそ会主催のインバウンドセミナーの広報誌をデザインしました。

1. 地元の方にタブレットの使い方を教えました。

我々は当たり前のように使うスマートフォンやタブレット。60歳以上の人にとってはとっつきにくく、いざやってみようと思うと抵抗があるよう。タブレットを買ったので教えて欲しいと知り合いの方から要望がありました。先日マンゴーをもらったばかりだったので、これは力にならないと、1時間半、みっちり教えました。基本的な操作や次の内容をアドバイスしました。

カメラの使い方

写真ギャラリーの見方

Google アカウントの作成

Gmail 設定

Google 検索

LINE アカウントの作成

LINE の基本的な使い方

- ・画像の保存
- ・ボイスの送信
- ・スタンプの送信
- ・音声認識での入力
- ・ビデオ通話のやり方

Facebook のアカウント作成

Facebook の基本的な使い方

- ・投稿方法
- ・友達の検索
- ・ニュースフィードの見方

Google マップの使い方

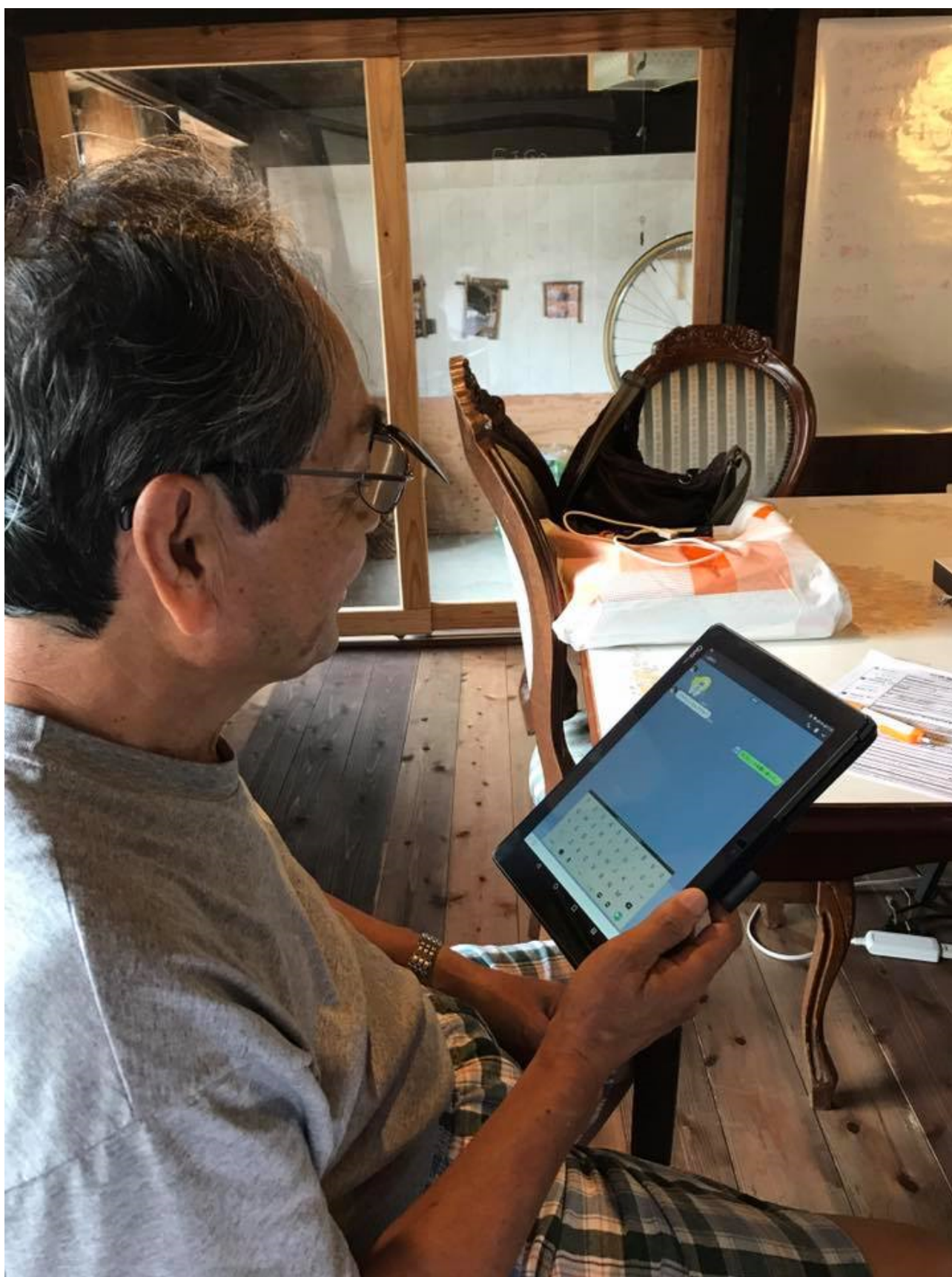
Google マップタイムラインの使い方

タブレットの基本操作

タブレット内のアプリ配置替え

これからもっともっとテクノロジーは進化していきます。テクノロジーを使う人と使わない人が乖離しないためにも、頑張ろうとしている人にはしっかり教えたいなと思っております。タブレットやスマホの普及により、インターネットが身

近なものになりました。もっともっとチャレンジしようと思う人が増えるといいなと思います。



↑ LINE の使い方を覚える I さん

2. 農業研修生のコーヒーの淹れ方講座を取材しました。

穎娃の農家に研修に来ているバリスタがいます。先月から2か月、9月いっぱいまでの滞在となります。神戸でコーヒーを淹れてきた彼が何故穎娃に来たのか。コーヒーの淹れ方がうまくなると、「美味しい」と言われることが素直にうれしいと思えなくなる、実際にコーヒー豆を作っている地アフリカに行き、産地の勉強をしたいと言います。そもそも日本の農業を知らなかったため、農業研修生の受け入れをしていた農園さんに、学びにくることになりました。

歳が近いこともあり、よく飲み交わしました。彼が、おこそ会の運営する拠点「塩や、」でコーヒーの淹れ方講座をするというので、参加してきました。

ただただコーヒーメーカーで淹れていた私にとって、今回の講座は良き実りとなりました。お湯量、抽出時間、注ぎ方、豆の挽き方、豆の焙煎具合、によって、苦み渋みが異なる。単に焙煎の浅い深いだけでなく、抽出時間を調整することで、好みの味に変化させることができるのは、驚きでした。

彼は、4月にまた穎娃に来るそうです。その時は旅の報告会をしますので、是非、塩や、にお越しください。



↑ 抽出方法を指導する Y 氏



↑ コーヒーを淹れる

3. おこそ会主催のインバウンドセミナーの広報誌をデザインしました。

同僚が主催するイベントの広報物をデザインしました。デザインの意図として、外からくる外国人を飛行機で表し、習得する知識が皆さんの何かしらのいい準備になるようにと願いを込めて、滑走路を描きました。詳細は書いてある通りです。一般参加も大歓迎ですので、お申込みのうえ、ご参加いただけますと幸いです。

KAGOSHIMA INBOUND MEETING

意外と知らない
インバウンドの
正しい知識

presented by 鹿児島旅行計画

2017.11.7 TUE
16:00-20:00 参加無料
南九州市市民交流センターひまわり館



Akihiro Shugo
守護 彰浩
ハラルメディアジャパン㈱
代表取締役



Toyoko Morita
森田 豊子
鹿児島大学 グローバルセンター
特任准教授



Marie Wakino
脇野 真梨江
株式会社クライベスト
代表取締役



Teppei Kawanishi
川西 哲平
株式会社
ワイヤ・アンド・ワイヤレス



Shigeki Shirasawa
白澤 繁樹
Samurai Ramen UMAMI
ファウンダー

with You
定員 50 名

参加資格
インバウンドについて知り
たい方、海外事業に興味の
ある方、国際交流に興味の
ある方 ...etc

近年の訪日外国人観光客は、大都市や観光地化された場所よりディープな訪日
旅行を求めています。地方は活力を取り戻すため、積極的にインバウンドに取り
組み始めました。各地の事例が、全国のメディアで取り上げられるようになっ
てきています。私たちが住む「鹿児島県」は一流の自然・食文化・歴史があります。
多くの観光客に来てもらうための戦略や戦術もこれからは多産業連携が求められ
ます。

今回の KAGOSHIMA INBOUND MEETING では全国で活躍している 5 名の事業
者を招き、取り組みを紹介して頂きます。また各事業者の取り組みに対し、ディ
ベートや質疑応答をするプログラムを実施予定。ここで出会う新たなメンバー
ともグループワークを通じて、関係構築をしてみたいと思っています。

是非ともインバウンドの正しい知識取得と明日の第一歩を考えてみませんか。

詳細・申し込みは右記 URL にて
申し込み締め切り：10 月 31 日

<https://goo.gl/rUQYNK>

お問合せ先 企画担当：蔵元恵佑 kurakei018@gmail.com 南九州市市民交流センターひまわり館 鹿児島県南九州市川辺町平山 6630

主催：南薩地域振興局、南九州市観光協会 企画：NPO 法人願娃おこそ会